

「めぐろの環境」とは

- 「めぐろの環境」は、「目黒区環境基本条例」第9条の規定に基づき、「目黒区環境基本計画」に基づく環境保全施策及び重点プロジェクトの実施状況などについて明らかにし、広く区民の皆さんに公表する環境報告書です。
- 2019（令和元）年度版「めぐろの環境」は、2017（平成29）年3月改定の「目黒区環境基本計画」に基づき、2018（平成30）年度に実施した環境保全施策をまとめた報告書です。
- 本概要版は、「めぐろの環境」の本編をカラー版でわかりやすくまとめた冊子です。

目次

第1章 2018（平成30）年度の主な取組 1
第2章 環境保全施策の推進	
基本方針1 省エネのまちづくり	
地球温暖化対策を推進する 4
基本方針2 循環型社会づくり	
ものを大切にして循環型社会を実現する 6
基本方針3 みどりづくり	
みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する	.. 8
基本方針4 生活環境づくり	
健康で快適に暮らせる生活環境を確保する 10
基本方針5 ひとづくり	
環境を守りはぐくむ人を育てる 12
第3章 重点的に取り組むテーマ 14
第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組	. 16

目黒区環境基本計画の体系図

環境像	基本方針	施策の目標
地域と地球の環境を守りはぐくむまち — めぐろからの挑戦 —	基本方針1 省エネのまちづくり 地球温暖化対策を推進する	1-1 低炭素のライフスタイルへの転換
		1-2 エネルギーを賢く使う暮らしの創造
		1-3 気候変動への適応策の推進
	基本方針2 循環型社会づくり ものを大切にして循環型社会を実現する	2-1 ごみをつくり出さない意識の醸成
		2-2 ごみの減量と資源化の推進
		2-3 ごみの適正処理の推進
	基本方針3 みどりづくり みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する	3-1 拠点となるみどりの保全と創出
		3-2 身近なみどりの保全と創出
		3-3 都市の生物多様性の確保
	基本方針4 生活環境づくり 健康で快適に暮らせる生活環境を確保する	4-1 大気・水・土壌環境の保全
		4-2 身近な環境問題への対応
		4-3 住み心地のよい生活環境の確保
	基本方針5 ひとづくり 環境を守りはぐくむ人を育てる	5-1 環境教育・学習の機会の充実
		5-2 環境保全活動の推進
		5-3 ネットワークの形成

「第2章 環境保全施策の推進」に掲載した指標について

環境基本計画の進行管理を行うため、基本方針ごとに指標を設けています。数値目標を設定している成果指標及び関係計画に基づく成果指標は3段階（☺・☹・☹）、目指す方向を設定している取組点検項目は2段階（☺・☹）で評価しています。また、取組点検項目のうち、（☆）のついた指標は、重点的に取り組むテーマに係る取組を表します。

第1章

2018（平成30）年度の 主な取組

2018（平成30）年度に行った環境保全施策の中で、特に力を入れた取組などを報告します。

1 地球温暖化対策を推進する

地球温暖化は地球規模の問題ですが、一人ひとりが日常生活の中で環境にやさしい行動を実践していくことが重要です。

●目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画（めぐろエコ・プランⅢ）改定

「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」は、当該計画期間が2018（平成30）年度で終了することから、2019（平成31）年4月1日以降の温室効果ガス削減目標や具体的取組について定め、区が暮らしに身近な基礎自治体として、また区内の大規模事業所の一つとして、具体的な行動を区民や事業者に示し、率先して低炭素社会・循環型社会実現の牽引役となっていくため、「目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画（めぐろエコ・プランⅢ）」として改定し、計画期間内における温室効果ガス総排出量、エネルギー使用量の削減目標などを決めました。

なお、新たな計画期間は、2019（平成31）年4月1日から2030（令和12）年度までの12年間とし、5年後の2023（令和5）年度に計画の見直しを行います。

●住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費を助成しました

二酸化炭素の排出量の削減に貢献する新エネルギー^{※1}設備や省エネルギー設備を設置する区民を対象に、設置経費の一部を助成しました。

<2018（平成30）年度実績>

（ ）：2017（平成29）年度実績

助成対象設備	助成額	助成額の上限	申請件数	助成件数
太陽光発電システム	本体価格の 3分の1	10万円 ^{※2}	32件 (44件)	30件 (43件)
家庭用燃料電池システム		5万円	71件 (72件)	69件 (71件)
家庭用蓄電システム		5万円	15件 (9件)	15件 (7件)
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器		3万2千円	11件 (19件)	11件 (19件)
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）		2万円	8件 (13件)	7件 (12件)
マンション共用部LED照明		10万円	15件 (17件)	15件 (16件)
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) ^{※3}		30万円	0件 (0件)	0件 (0件)

※1 新エネルギー：太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや廃棄物による発電など、石油代替エネルギーとなるもの。助成対象設備では、太陽光発電システム又は家庭用燃料電池システムを指す。

※2 太陽光発電システムの申請に加えて、その他の助成対象設備を申請する場合に、その数に応じて1万円ずつ加算。

※3 住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電などによってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロとなる住宅のこと。

2 ものを大切にして循環型社会を実現する

2016（平成28）年3月に改定した「目黒区一般廃棄物処理基本計画」では、目標達成のための取組のイメージとして、①1人1日当たりごみ量を約100g減量、②区全体のごみ量を年間約10,000トン減量、③リサイクル率を約32%に引き上げの3点を掲げています。この取組について、区民や区内団体・事業者に向け、効果的な普及啓発を図るため、2017（平成29）年度に引き続き、「MGR100プロジェクト」を実施しました。

※「MGR100」とは、目黒区一般廃棄物処理基本計画の取組イメージである「1人1日当たり約100gのごみ減量」に向けた合言葉、M（目黒）・G（ごみ）・R（リデュース）・100gの略称。

●「MGR100プロジェクト」ごみ減量アイデア募集



<「MGR100プロジェクト」ごみ減量アイデア募集チラシ>

●めぐろ買い物ルールの推進



<のぼり旗>

<啓発チラシ>

3 みどりははぐくみエコロジカルネットワークを形成する

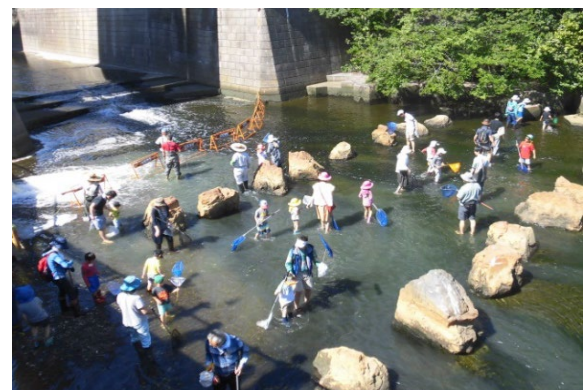
みどりは、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観の向上、生物多様性の確保、都市防災への寄与などとともに、人々にうるおいと安らぎをあたえるなど、多様な効用をあわせもっています。目黒の桜再生計画の取組として、立会川緑道と呑川本流緑道の桜再生実行計画を作成しました。また、生物多様性に関する取組として、目黒川と駒場公園で住民参加型の自然環境調査「いきもの発見隊」を開催し、みどりやいきもの大切さの普及・啓発を図りました。

●目黒の桜再生計画の取組



<立会川緑道の植替えイメージ>
コシノヒガンにより植え替えるエリア

●「いきもの発見隊」の開催



<目黒川で魚を探す参加者>

4 健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

住み心地のよいまちであり続けるためには、歩きたばこや吸殻等のポイ捨てなどを防止するためのモラルやマナーを一人ひとりが守っていくことが重要です。区では、「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなで作る条例」を定め、区、区民、事業者などが、それぞれ主体的に協働してまちの環境美化に取り組んでいます。

● 路上喫煙禁止啓発パトロール



<路上喫煙禁止啓発パトロールの様子>

● ポイ捨て禁止キャンペーンの実施



<ポイ捨て禁止キャンペーンの様子>

● めぐる たばこルール

- 1 たばこのポイ捨てや歩きたばこは、区内全域で禁止です。
- 2 路上喫煙禁止区域（中目黒駅・学芸大学駅・都立大学駅・自由が丘駅周辺）では、指定喫煙所以外の路上での喫煙は禁止です。
- 3 指定喫煙所では、灰皿周辺のエリア内で喫煙しましょう。
人が多いときは、少し待つ心のゆとりを持ちましょう。



5 環境を守りはぐくむ人を育てる

地球規模で起こっている環境問題は、日常生活と深く関わっています。環境保全に取り組む人を育てるため、環境推進員養成講座を開催したほか、区ホームページでの環境に関する情報の発信や、「めぐろグリーンアクションプログラム」の推進などを行いました。

● 環境推進員養成講座（第11期）の開催



<旧三河島污水処分場の見学>



<グループ発表の様子>